

海のペーパークラフトと船の模型

展示物

- ・ペーパークラフト
 - ・客船や貨物船などいろいろな船舶
 - ・映画「喜びも悲しみの幾年月」の舞台となった灯台他
 - ・深海生物、マンタなどの海の生き物
- ・船の模型
 - ・関釜連絡船、帆船などの精巧な大型模型

展示期間
開館時間
場所

平成26年8月15日(金)～8月27日(水)
午前9時～午後6時(最終日は展示を17時で終了いたします。)
北九州市門司区西海岸1-6-2

関門海峡らいぶ館(旧JR九州本社ビル1階)

電話093-322-5002

駐車場はありませんのでご注意ください



「海のペーパークラフト・船の模型」主な作品についての説明

船舶



関釜連絡船徳寿丸

鉄道省が大正11年に建造した下関と釜山を結ぶ客船。
戦争のため航路の変更や戦後米軍の徵用など数奇な運命をたどった。

蒸気外輪船第五閨門丸

大正15年に鉄道省が貨物車両を搬送するため建造した現在の門司区小森江と下関を結ぶ自走式貨車搬送船である。
閨門トンネル開通などの事情により宇高航路の貨物輸送に従事した。



横浜市ランドマークタワー前に保存されている日本丸

測量船海洋

海図等を作成する基となる資料収集等を行う海上保安庁海洋情報部の船舶で平成5年に建造された。



特別展示

2000メートルを超える深海の水圧で小さくなったカップ麺の容器(右)



灯台

水の子灯台

大分県と愛媛県の間の豊後水道中央付近にある水の子島に明治37年に設置された。塔の高さは39メートルあり、太平洋から瀬戸内海や閨門海峡を行き来する船舶に安全の明かりを灯し続けている。映画「喜びも悲しみも幾年月」の舞台となつた灯台である。



女島灯台

東シナ海の無人の男女群島女島に昭和2年に設置された。映画「喜びも悲しみも幾年月」の舞台となつた灯台で、この灯台が人が滞在する最後の灯台となり、2006年滞在を終了した。



角島灯台

山口県下関市角島に明治9年に設置された。高さは約30メートルあり、山口県の北西日本海に安全の明かりを灯し続けている。



門司港レトロ灯台(門司西海岸五号防波堤灯台)

平成9年3月に福岡県北九州市門司区にレトロの街をイメージして設置された。



出雲日御碕灯台

神話のふるさと島根半島の西端の断崖に立つ44メートルの灯台で、明治36年に設置された。日本の美しい灯台としてだけではなく世界灯台100選にも選ばれている。